

# 事業成果報告書

1. 教育委員会名 : 牛久市教育委員会
2. 研究主題 : 小規模校を存続させる場合の教育活動の高度化
3. 研究タイトル : 国際理解教育とE S D教育を柱とした「奥野学園構想」を実現し、魅力ある学校づくりにより児童生徒の増加を目指す
4. 研究課題 : ①少人数学習による英語教育及び国際理解教育の推進  
②地域との連携を深めながら行う環境学習を核としたE S D教育の推進
5. 事業の実績

## (1) 調査研究のねらい

<p>学校が地域づくりに地域が学校づくりに取り組む双方向の関係性をつくり出し、学校及び地域の活力向上を図ることをねらいとする「奥野学園構想」の施策の一つとして以下のように魅力ある教育活動を工夫していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域人材やA L Tの活用による小規模校を生かした少人数の英語指導及び国際理解教育の実践による魅力ある学校づくり</li> <li>・小規模校のデメリットを解消するために、地域住民やN P Oと連携したE S D教育の充実による地域の特性を生かした教育活動の展開</li> <li>・小規模特認校制度による、学校の存続を目指す。</li> </ul>
---

## (2) 調査研究の実施状況（平成27年度） ◎：共通，○：奥野小，◇：牛久二中

10月	<p>◎「牛久市少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進協議会」の設立 (組織づくり，活動計画づくり)</p> <p>◎N P O法人と連携した小中学校環境学習プログラムの検討</p> <p>◎奥野地区市民体育祭への全児童生徒参加</p> <p>○社会教育と連携した放課後学習，土・日学習の実施（～3月）</p> <p>○N P Oや大学と連携した地域づくりを通じた自然との共生学習の実施</p> <p>○オーストラリアオレンジ市の学校（略称O A G S）の担当者との打合せ</p> <p>○イングリッシュタイム（週3回15分，全学年）の設定</p> <p>◇少人数英語学習の計画立案</p>
11月	<p>◎地域やN P O法人と連携した環境教育等を核としたE S D教育の実践</p> <p>◎一日体験入学（奥野小6年生が中学校生活を体験）</p> <p>○2人のA L Tを活用した英会話学習開始</p> <p>○オーストラリアオレンジ市との連携 (グーグルドライブの共有ドライブを活用したビデオ，写真の共有) (奥野小5年生とO A G Sの7年生がS k y p eでビデオ交流実施)</p> <p>○イングリッシュタイム（週3回15分，全学年）の設定</p> <p>○N P Oや大学と連携した地域づくりを通じた自然との共生学習の実施</p> <p>○学習発表会（「奥野っ子ステージ」国際理解教育，E S D教育の学習を地域・保護者の方々に発表</p> <p>◇少人数英語学習開始（A L Tの1名増員 ※奥野小と兼任）</p>

12月	<p>◎「牛久市少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進協議会」の開催（活動内容の確認、調整）</p> <p>◎地域やNPO法人と連携した環境教育等を核としたE S D教育の実践</p> <p>○NPOや大学と連携した地域づくりを通した自然との共生学習の実施</p> <p>○A L Tとイングリッシュルーム設置のための打合せ・準備</p> <p>○イングリッシュタイム（週3回15分、全学年）の実施</p> <p>◇少人数学習による英語教育，国際理解教育の実践</p> <p>◇社会教育と連携した教育課程外の英語教育の実践</p>
1月	<p>◎地域やNPO法人と連携した環境教育等を核としたE S D教育の実践</p> <p>◎通学区域審議会において奥野学園が特認校に認定（平成28年度より試行。平成29年度より本実施）</p> <p>◎奥野小・牛久二中の教育活動を紹介するチラシ作成（市内小中学校の新1年生全員に配布）</p> <p>○NPOや大学と連携した地域づくりを通した自然との共生学習の実施</p> <p>○イングリッシュタイム（週3回15分、全学年）の実施</p> <p>○イングリッシュルームの設置（日本語なしの英会話生活）</p> <p>◇少人数学習による英語教育，国際理解教育の実践</p> <p>◇社会教育と連携した教育課程外の英語教育の実践</p>
2月	<p>◎地域やNPO法人と連携した環境教育等を核としたE S D教育の実践</p> <p>◎一日体験入学（奥野小6年生が中学校生活を体験）</p> <p>◎チラシ「奥野学園の恵まれた自然環境を生かして」の作成及び配布</p> <p>○NPOや大学と連携した地域づくりを通した自然との共生学習の実施</p> <p>○オーストラリアオレンジ市との連携（奥野小6年生とOAGSの8年生がS k y p eでビデオ交流実施）</p> <p>○イングリッシュタイム（週3回15分、全学年）の実施</p> <p>○特別英語学習プログラムの実施（6年）</p> <p>◇少人数学習による英語教育，国際理解教育の実践</p> <p>◇社会教育と連携した教育課程外の英語教育の実践</p>
3月	<p>◎「牛久市少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進協議会」の開催（研究のまとめ、次年度の計画づくり）</p> <p>◎地域やNPO法人と連携した環境教育等を核としたE S D教育の実践</p> <p>○NPOや大学と連携した地域づくりを通した自然との共生学習の実施</p> <p>○イングリッシュタイム（週3回15分、全学年）の実施</p> <p>◇少人数学習による英語教育，国際理解教育の実践</p> <p>◇社会教育と連携した教育課程外の英語教育の実践</p>

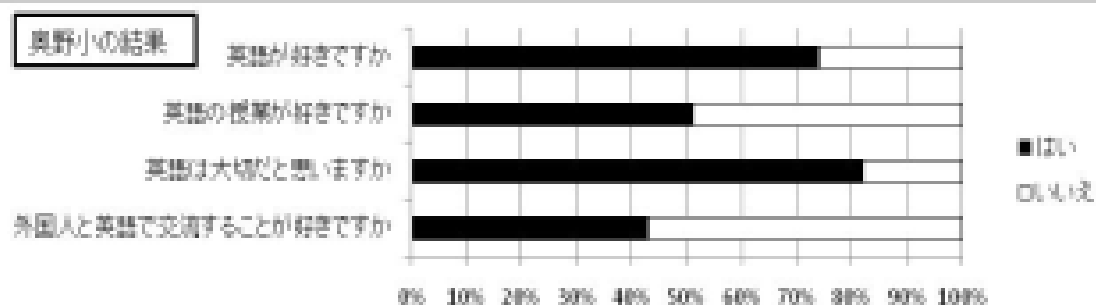
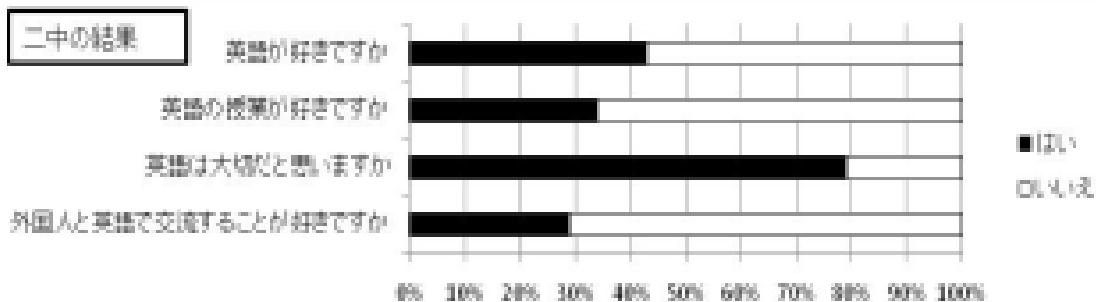
## 6. 事業の成果

### (1) 研究課題に応じて設定した具体的目標に対する達成状況

#### ①少人数学習による英語教育及び国際理解教育の推進

- ・英語教育及び国際理解教育の実践プログラムを作成した。
- ・少人数指導，個別指導の充実及びI C Tを活用した海外との交流活動により，英語によるコミュニケーション能力が向上した。

奥野小・牛久二中でアンケートを、2月に実施した。



### 牛久第二中学校

- ・「英語が好きですか」に「はい」が、43%
- ・「英語の授業が好きですか」に「はい」が、34%
- ・「英語は大切だと思いますか」に「はい」が、79%
- ・「外国人と英語で交流することが好きですか」に「はい」が、29%

「英語は大切」だと思う生徒が多いのは、社会的ニーズだけではなく、ALTの増員により、英語でのコミュニケーションの楽しさ、必要性を感じる場面が多くなったことによると思われる。

### 奥野小学校

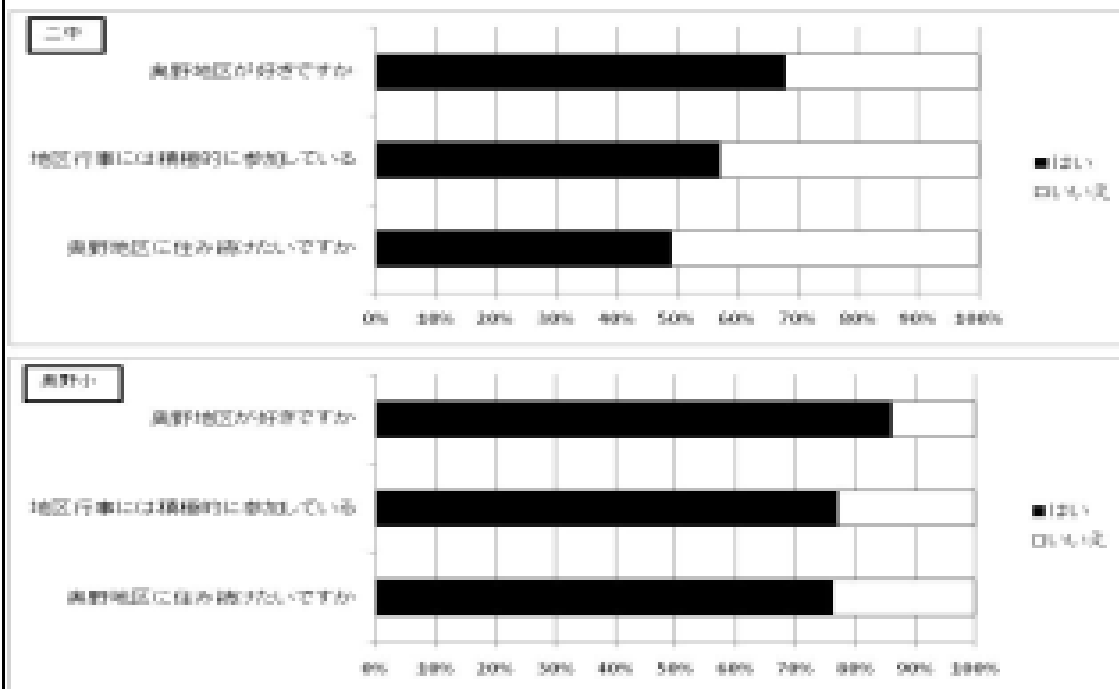
- ・「英語が好きですか」に「はい」が、74%
- ・「英語の授業が好きですか」に「はい」が、51%
- ・「英語は大切だと思いますか」に「はい」が、82%
- ・「外国人と英語で交流することが好きですか」に「はい」が、43%

カリキュラムの変更を行い、週に3回15分間のイングリッシュタイムを導入したり、日本語なしのイングリッシュルームを設置したりしてきた。その成果が、低学年での英語活動においても英語を身近に感じている様子からうかがえる。現在、ALTの協力により、特別英語学習プログラムを作成し、6年生が実施している。このプログラムは、小学生が英語に親しむ内容である。今後は、小中9年間を見通したカリキュラムを編成していく予定である。

## ②地域との連携を深めながら行う環境学習を核としたESD教育の推進

- ・NPOと連携した環境学習プログラム及び実践事例集を作成した。
- ・児童生徒との他者や地域との関わり・つながりの深まりを意識調査により評価した。

アンケートの結果は、以下ようになった。



#### 牛久第二中学校

- ・「奥野地区が好きですか」の「はい」が、68%
- ・「地区行事には積極的に参加している」の「はい」が、57%
- ・「奥野地区に住み続けたいですか」の「はい」が、49%

#### 奥野小学校

- ・「奥野地区が好きですか」の「はい」が、86%
- ・「地区行事には積極的に参加している」の「はい」が、77%
- ・「奥野地区に住み続けたいですか」の「はい」が、76%

NPOや大学と連携した地域づくりを通して、自然との共生学習に取り組む事が出来た。このことによって、児童生徒は今まで無関心だった自分たちの住む地域に関心を持ち、地域を客観的に見られるようになってきた。

次年度は、国連のユネスコスクールに登録し、奥野地域の良さを世界に発信する児童生徒の育成に取り組む予定である。

#### (2) 成果物等

- ・牛久市少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進協議会設置要綱
- ・平成27年度第1回牛久市少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進協議会要項・議事録
- ・平成27年度第2回牛久市少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進協議会要項・議事録
- ・チラシ「恵まれた自然環境を生かして、グローバルな人材育成を目指す奥野」
- ・イングリッシュルームの概要

(3) 今後の取組予定

- ・ 保育園から小学校、中学校への英語教育の接続プログラム
- ・ 社会教育（土曜カップ塾，日曜奥野カップ塾）と連携した英語教育及び国際理解教育の充実
- ・ 福島県ブリティッシュヒルズでの宿泊体験（英語学習）
- ・ ESD教育の充実（小中一貫による，9年間を見通した総合的な学習の時間の在り方）
- ・ 姉妹都市オレンジ市の学校との日常的な交流
- ・ 平成28年度は試行であるが，平成29年度より小規模特認校制度の実施を目指す。  
（平成28年度結果5人の児童生徒が奥野小・牛久二中に転入予定。）